

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【公開番号】特開2012-249614(P2012-249614A)

【公開日】平成24年12月20日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2011-126637(P2011-126637)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 1 2 Q 1/66 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/02

G 0 1 N 33/15 Z N A Z

C 1 2 Q 1/66

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月11日 (2014.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の工程：

OR5P3、OR2W1、OR5K1及びOR8H1から選択される嗅覚受容体のいずれか 1 種に試験物質及び悪臭の原因物質を添加する工程；

当該悪臭の原因物質に対する当該嗅覚受容体の応答を測定する工程；

測定された応答に基づいて当該嗅覚受容体の応答を抑制する試験物質を同定する工程；

当該同定された試験物質を、悪臭抑制剤として選択する工程

を含む悪臭抑制剤の探索方法であって、該悪臭がスカトール臭又はインドール臭である、方法。

【請求項 2】

前記嗅覚受容体がOR5P3、OR5K1及びOR8H1から選択される請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記嗅覚受容体が、天然に嗅覚受容体を発現する細胞上又は嗅覚受容体を発現するように遺伝的に操作された組換え細胞上に発現された嗅覚受容体である、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

試験物質を添加しない嗅覚受容体の応答を測定する工程をさらに含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記試験物質を添加しない嗅覚受容体の応答に対して、試験物質を添加された嗅覚受容体の応答が 80 % 以下に抑制されていれば、当該試験物質を悪臭抑制剤として選択する、

請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記受容体の応答を測定する工程が、レポータージーンアッセイによって行われる、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の方法。